

2017.06.26.

## 理事長挨拶【土田 哲也(埼玉医大皮膚科)】

今年度の日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会(6月30日~7月1日)は、秋田で開催されます。眞鍋会長はじめ主催校である秋田大学医学部皮膚科の皆様には大きなご負担をおかけしますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

任意団体であった日本皮膚悪性腫瘍学会が社団法人となり2年(形式上は3年)が経過いたしました。これを契機に、この間、様々な改革(定款作成、会則変更、学会誌であるSkin Cancerの完全オンライン化、ホームページのリニューアル、会員名簿の整理、年会費自動引き落としなど)がなされましたが、役員の方をはじめ会員皆様のご協力で何とか進めることができました。また、一昨年度から会員の皆様との連絡役を担う新たな紙媒体として、このレターが始まっています。

学会活動としては、学会賞である石原・池田賞も認知されるようになり、毎年皮膚悪性腫瘍に関する優れた論文を表彰できるようになりました。また、岩月先生を委員長とする皮膚がん予後統計委員会では、皮膚悪性腫瘍に関する調査を地道に続け、貴重なデータを蓄積してきております。さらに、長年の懸案であった皮膚付属器悪性腫瘍に関する調査・解析が渡辺先生・安齋先生を中心にワーキンググループで開始されています。

大きな課題としては、皮膚悪性腫瘍診療ガイドラインの作成・改訂があります。このガイドラインは、日本がん治療学会、日本皮膚科学会、皮膚悪性腫瘍学会が共同して作成・改訂してきたガイドラインで、皮膚悪性腫瘍学会がその作業の中心を担ってまいりました。2014年度に改訂がなされ、2015年にはメラノーマ等4癌腫と皮膚リンパ腫のガイドラインが合本化され、「皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン第2版」(金原出版)として出版されています。また、さらにその後、血管肉腫診療ガイドラインも加わりました。改訂および新規作成が終わったばかりではありますが、すでに次の改訂に向け、菅谷先生を委員長とするガイドライン作成委員会が活動をスタートしています。しかし、昨今の皮膚悪性腫瘍診療をめぐる環境の急激な変化には改訂がついていけなくなっています。そのため、その中でも特に変貌著しいメラノーマの薬物療法については、山崎先生を中心とする委員会が「悪性黒色腫(メラノーマ)薬物療法の手引き」を作成し、短いスパンで改訂を行ってくださっています。また、改訂スピードが速く世界中で利用されているNCCN(National Comprehensive Cancer Network)診療ガイドラインについて、皮膚悪性腫瘍領域の日本語版の監訳も門野先生を中心に手掛けていただきました。現在、ガイドライン関連につきましては、本筋の本邦ガイドラインに加えて、頻りに改訂を行う悪性黒色腫薬物療法の手引き、および海外で最も頻用されるNCCNガイドラインの日本語版と、3本柱がそろいました。

私の理事長としての任期は今度の学会で終了します。2期5年にもわたって皆様にはご支援いただき誠にありがとうございました。また、事務局長として学会に大きく貢献してくれた緒方先生には、心より感謝いたします。今後も、本学会が、益々高まる皮膚悪性腫瘍の診療・研究に対する社会の要請に応え、発展していくことを願っています。

平成29年6月21日  
 日本皮膚悪性腫瘍学会  
 理事長 土田哲也



## ◆学術大会のご案内◆



第33回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会  
 会期:平成29年6月30日(金),7月1日(土)  
 会場:秋田キャッスルホテル  
 会長:眞鍋 求  
 (秋田大学皮膚科・形成外科)



事務局より  
 会員メーリングリスト導入による情報配信について  
 学会員の皆様のご協力により、現在会員メーリングリストの作成を行っております。メーリングリストの導入は学会誌の紙媒体廃止に付随した、郵送費用のコストカットによる経費削減と、より活発に学会からの情報発信を行うことを目的としております。今現在踏力がお済みでない会員の皆様は、会員管理を担当しております(株)臨床医薬研究会までご連絡頂ますようお願い致します。

学会ホームページ(ポータル)について  
 学会ホームページをリニューアル致しました。新規承認薬剤の情報更新や、他学会関連情報の発信などをトップページのお知らせ欄に随時掲載しています。完全Online化されたSkin Cancer誌へもよりアクセス可能ですのでご利用ください。ログインの際には毎年更新されますパスワードのご確認をよろしくお願い致します。また住所変更手続き、入退会手続き等各種手続きの書式もよりダウンロード可能です。尚、Eコマースに関するご意見・ご要望並びに、インフォメーションのご依頼がございましたら、学会事務局までご連絡頂ますようお願い致します。

(文責) 日本皮膚悪性腫瘍学会事務局 緒方 大

## 第34回学術大会の御案内【戸倉 新樹(浜松医科大学皮膚科)】



第34回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会を、浜松医科大学皮膚科学教室が担当させていただきます。テーマは「日韓コラボ・他科コラボ」としました。この機会を利用し、日韓のこの領域の皮膚科医が一同に会して交流を深めたいと考えました。韓国はお隣の国ですが海を隔てているため、一方では、皮膚腫瘍に対してどんな考えをもち、どんな医療を行っているかは謎の部分もあります。また病理を始めとする他科の先生方には日々お世話になっており、「他科コラボ」も同時に行うことにしました。

「日韓コラボ」に関しましては幸い、JSCSに対応する韓国のKorean Society for Skin Cancer (KSSC) の全面的なご協力が得られ、7名の講演者と2名の座長をご紹介頂きました。日本からもそれぞれ対応するテーマで7名の方々にご講演頂き、シンポジウムを行う予定です。「他科コラボ」につきましては、病理医など皮膚悪性腫瘍を日常診療として扱ってられる先生方にご発表頂き、意見交換する予定です。

メラノーマを始めとして、治療上の進歩は目覚ましいものがあります。それと同時に薬剤の使用経験が蓄積され、様々な問題が集約化されてきています。実臨床から免疫学的なメカニズムまで問題を整理し、集中的に討論するシンポジウムも設けます。浜松医大皮膚科は皮膚リンフォーマの臨床・研究を行ってきました。毎年次大会に倣い、CPCを含めて皮膚リンフォーマについても診断から新しい治療まで集中的な発表と討論の場を設ける予定です。

しかし何と言っても本学会の重要なプログラムは一般演題です。会員の皆様からの興味深い演題発表と熱い討論があればこそ、学会出席の意味があります。是非、多くの演題をお寄せ頂きますようお願い致します。最後に、第2回「デルマトオーケストラ」演奏会を金曜日の懇親会前に催しますので、是非お聴き下さい。

### 学会の現況

2016年度会員状況(平成29年4月30日現在)

#### 1. 会員数

1) 一般会員	1,405名
2) 賛助会員	2社: 東レ(株)・マルホ(株)
3) 名誉会員	18名
4) 功労会員	32名
合計	1,457名

**第34回** The 34th Annual Meeting of the Japanese Skin Cancer Society  
**日本皮膚悪性腫瘍学会**  
**学術大会**  
**日韓コラボ・他科コラボ**  
 Collaboration with Korean Dermatologists and Other Departments  
 2018年 **7月6日(金)~7日(土)**  
 July 6(Fri) - 7(Sat), 2018  
 会場 **アクトシティ浜松**  
 ACTCITY HAMAMATSU  
 会長 **戸倉 新樹** (浜松医科大学 皮膚科学講座 教授)  
 Yoshiki Tokura  
 事務局長 **島内 隆寿** (浜松医科大学 皮膚科 教授講師)  
 Takatoshi Shimouchi  
 一般演題登録期間  
 2018年 **1月16日(金)~2月21日(金)**

